



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社オートウェーブ 上場取引所 東
コード番号 2666 URL <http://www.auto-wave.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）廣岡 大介
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）宮内 和也 TEL 043-250-2669
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,641	14.1	109	87.4	175	50.4	101	50.2
2025年3月期中間期	4,066	0.4	58	△47.5	116	△28.3	67	△31.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	7.04	—
2025年3月期中間期	4.69	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	7,445	4,197	56.4
2025年3月期	7,520	4,139	55.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,197百万円 2025年3月期 4,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,571	7.9	342	24.8	458	11.4	285	6.3	19.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	14,451,000株	2025年3月期	14,451,000株
2026年3月期中間期	211株	2025年3月期	211株
2026年3月期中間期	14,450,789株	2025年3月期中間期	14,450,789株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続してみられたほか、インバウンド需要の増加もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料価格の高騰や円安による物価上昇、更には米国の関税政策の影響により世界経済の不確実性が高まるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社はお客様の暮らしに寄り添う企業を目指し、地域の皆様にとって必要不可欠なトータルライフパートナーとなるべく、事業の多角化と地域密着型サービスの強化に努めております。

具体的には、新車・中古車販売、車検・整備を軸とする総合カーディーラーとしての「車関連事業」の強化に加え、業務スーパーやコインランドリー、自転車販売などを含む「暮らしの利便性向上」を目的とした事業にも注力しております。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

<車関連事業>

車関連事業におきましては、メンテナンスを通じて「世の中から事故車・故障車をなくす」というミッションを掲げ、社是として取り組んでおります。お車に安心・安全・快適にお乗りいただくためには、オイル交換やバッテリー交換などのメンテナンス管理が重要です。そのために、当社はお車のメンテナンス状況が一目で把握できる機能に加え、次回のメンテナンス時期を事前にお知らせする機能を搭載した新たなオートウェーブ公式アプリ

「myCARカルテ」をリリースいたしました。このアプリをご利用いただく事で、オイル交換やバッテリー交換に加え、車検やボディーコーティングなどのメンテナンス状況も確認でき、アプリ経由で作業のご予約も可能となっております。今後も、より利便性を高めた新機能搭載アプリのご利用を促進し、引き続き地域の皆様にとって必要不可欠なサービスをよりお手軽にご利用いただけるよう、努めてまいります。

このような取り組みの結果、売上高は3,064百万円(前年同期比8.9%増)、セグメント利益は215百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

<業務スーパー事業>

業務スーパー事業におきましては、地域の皆様に信頼され、親しみを持っていただける店舗づくりに取り組んでおります。エブリデイロープライス(毎日がお買得)をコンセプトに、お客様にいつでも安心してベストプライスの商品が選べるいただける環境を提供し続けたことにより、地域の皆様よりご好評をいただき、業績は堅調に推移いたしました。

このような取り組みの結果、売上高は1,577百万円(前年同期比25.9%増)、セグメント利益は53百万円(前年同期比387.2%増)となりました。

業務スーパー事業は、将来の重要な収益事業として確実に成長を続けております。今後も、出店候補地の調査・選定を継続しつつ、株式会社神戸物産や関係取引先との連携を通じて、事業基盤の更なる拡大を図ってまいります。

以上の結果、当社の当中間会計期間における売上高は4,641百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は109百万円(前年同期比87.4%増)、経常利益は175百万円(前年同期比50.4%増)、中間純利益は101百万円(前年同期比50.2%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産は7,445百万円と前事業年度末比74百万円(1.0%)の減少となりました。負債は3,248百万円となり、前事業年度末比132百万円(3.9%)の減少、純資産は4,197百万円で、前事業年度末比58百万円(1.4%)の増加となりました。この結果、自己資本比率は、前事業年度末比1.4ポイント増の56.4%となりました。

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前事業年度末と比較して127百万円増加し、656百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、303百万円(前年同期は65百万円の収入)となりました。資金の主な増加項目は、税引前中間純利益161百万円、減価償却費112百万円、売上債権の減少額60百万円であり、資金の主な減少項目は、法人税等の支払額69百万円、仕入債務の減少額34百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、33百万円(前年同期は112百万円の支出)となりました。資金の主な減少項目は、敷金及び保証金の差入による支出11百万円、有形固定資産の取得による支出11百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、143百万円(前年同期は142百万円の支出)となりました。資金の主な減少項目は、長期借入金の返済による支出100百万円、配当金の支払額43百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本日(2025年11月7日)公表いたしました「2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	529,690	656,890
売掛金	272,407	211,576
商品及び製品	630,364	645,287
その他	393,842	344,010
貸倒引当金	△333	△338
流動資産合計	1,825,971	1,857,426
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,817,527	1,751,008
土地	2,512,186	2,512,186
その他(純額)	348,538	307,779
有形固定資産合計	4,678,252	4,570,974
無形固定資産	41,513	40,530
投資その他の資産		
敷金及び保証金	868,764	879,713
繰延税金資産	49,733	41,187
その他	56,202	56,266
貸倒引当金	△191	△191
投資その他の資産合計	974,509	976,975
固定資産合計	5,694,275	5,588,480
資産合計	7,520,246	7,445,906
負債の部		
流動負債		
買掛金	279,882	245,202
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	69,591	50,832
その他	632,725	654,695
流動負債合計	1,682,200	1,650,730
固定負債		
長期借入金	880,000	780,000
長期預り保証金	404,580	404,580
資産除去債務	414,067	412,761
固定負債合計	1,698,647	1,597,341
負債合計	3,380,847	3,248,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,505,877	2,505,877
利益剰余金	1,533,677	1,592,112
自己株式	△155	△155
株主資本合計	4,139,399	4,197,834
純資産合計	4,139,399	4,197,834
負債純資産合計	7,520,246	7,445,906

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,066,450	4,641,678
売上原価	2,765,873	3,256,920
売上総利益	1,300,576	1,384,757
販売費及び一般管理費	1,242,261	1,275,469
営業利益	58,315	109,288
営業外収益		
受取手数料	49,568	59,369
廃棄物リサイクル収入	10,013	14,800
その他	6,491	3,732
営業外収益合計	66,073	77,903
営業外費用		
支払利息	6,210	9,252
その他	1,353	2,218
営業外費用合計	7,563	11,470
経常利益	116,824	175,720
特別損失		
減損損失	—	13,765
固定資産除却損	873	703
特別損失合計	873	14,469
税引前中間純利益	115,951	161,251
法人税、住民税及び事業税	34,142	50,917
法人税等調整額	14,052	8,546
法人税等合計	48,194	59,463
中間純利益	67,756	101,788

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	115,951	161,251
減価償却費	112,541	112,083
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42	5
受取利息及び受取配当金	△184	△605
支払利息	6,210	9,252
減損損失	—	13,765
契約負債の増減額 (△は減少)	14,223	26,419
売上債権の増減額 (△は増加)	62,456	60,830
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△57,825	△14,922
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,121	△34,680
未払費用の増減額 (△は減少)	△30,949	△977
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△49,958	57,139
営業保証金の増減額 (△は増加)	△1,718	△158
その他	△31,416	22,827
小計	169,492	412,231
利息及び配当金の受取額	184	603
訴訟関連損失の支払額	—	△30,000
利息の支払額	△6,269	△9,257
法人税等の支払額	△97,466	△69,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,940	303,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,714	△11,240
無形固定資産の取得による支出	△6,251	△3,110
固定資産の除却による支出	△724	△451
敷金及び保証金の差入による支出	△10,000	△11,287
敷金及び保証金の回収による収入	422	498
その他	△966	△8,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,236	△33,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
配当金の支払額	△42,760	△43,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,760	△143,019
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189,056	127,199
現金及び現金同等物の期首残高	650,695	529,690
現金及び現金同等物の中間期末残高	461,639	656,890

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益計算 書計上額 (注) 2
	車関連事業	業務スーパー 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,439,015	1,252,315	3,691,331	—	3,691,331
その他の収益	375,118	—	375,118	—	375,118
外部顧客への売上高	2,814,134	1,252,315	4,066,450	—	4,066,450
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,814,134	1,252,315	4,066,450	—	4,066,450
セグメント利益	194,540	10,937	205,477	△147,162	58,315

(注) 1. セグメント利益の調整額△147,162千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益計算 書計上額 (注) 2
	車関連事業	業務スーパー 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,658,550	1,577,232	4,235,783	—	4,235,783
その他の収益	405,894	—	405,894	—	405,894
外部顧客への売上高	3,064,445	1,577,232	4,641,678	—	4,641,678
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,064,445	1,577,232	4,641,678	—	4,641,678
セグメント利益	215,224	53,285	268,509	△159,220	109,288

(注) 1. セグメント利益の調整額△159,220千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「車関連事業」において、土地の有効活用の一環として老朽化した建物を取り壊したことに伴う減損損失13,765千円を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。